



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 イー・ギャランティ株式会社  
コード番号 8771 URL <http://www.eguarantee.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

(氏名) 江藤 公則  
(氏名) 唐津 秀夫

TEL 03-5447-3577

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,703	5.9	813	27.2	825	27.5	453	35.9
24年3月期第3四半期	2,553	4.4	639	7.2	647	6.9	333	1.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 494百万円 (28.4%) 24年3月期第3四半期 385百万円 (11.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	89.78	89.06
24年3月期第3四半期	81.46	81.06

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	7,525	4,803	49.7	736.45
24年3月期	6,631	4,283	55.3	726.62

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,738百万円 24年3月期 3,667百万円

(注) 平成25年3月期第3四半期の純資産は「従業員持株会支援信託ESOP」が保有する当社株式284百万円を自己株式として控除しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				17.50	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

25年3月期(予想)の数値は、本日開催の取締役会で決議いたしました、平成25年3月1日付での1株を2株とする株式分割後のものとなっております。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,640	6.5	980	16.3	1,000	17.0	530	13.1	52.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たりの当期純利益の数値は、本日開催の取締役会で決議いたしました、平成25年3月1日付での1株を2株とする株式分割後のものとなっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更、会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	5,076,700 株	24年3月期	5,047,900 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	80 株	24年3月期	80 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	5,049,177 株	24年3月期3Q	4,096,084 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

12月に発表された政府の月例経済報告は、景気の基調判断を「このところ弱い動きとなっている」とし、5カ月ぶりに基調判断が据え置きとなりましたが、依然として海外景気や内需の先行きに不透明感の残る環境が続いております。

当社グループを取り巻く環境を見ますと、平成24年12月の企業倒産件数は前年同月比4.7%減少の824件で、平成24年1年間では前年を2.1%下回る1万1129件となり（帝国データバンク調べ）、中小企業金融円滑化法等の各種支援策により倒産件数の抑制が続いております。

このような環境下、信用リスク保証サービスは引き続き堅調に推移いたしました。

大企業からの低リスク引受けを継続する一方、リスクに見合った価格設定を可能にするため流動化手法の多様化に取り組みました。

また、引き続き、販売チャネルとの人的交流を含めた緊密な連携に基づく営業活動を軸に、全国各地で新規顧客開拓や販路拡大に向けた施策を着実に実行し、新たなチャネルとして株式会社七十七銀行と提携いたしました。

なお、当社は平成24年12月17日より東京証券取引所市場第一部上場となりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,703,403千円（前年同期比5.9%増加）、営業利益813,112千円（前年同期比27.2%増加）、経常利益825,290千円（前年同期比27.5%増加）、四半期純利益453,312千円（前年同期比35.9%増加）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて13.5%増加し、7,525,686千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.8%増加し、6,506,875千円となりました。これは、現金及び預金が125,430千円、前払費用が409,921千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて34.5%増加し、1,018,810千円となりました。これは、投資有価証券が329,780千円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.9%増加し、2,721,884千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.5%増加し、2,409,071千円となりました。これは、保証履行引当金が86,759千円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて374.2%増加し、312,812千円となりました。これは、「従業員持株会支援信託E S O P」の信託契約に伴う長期借入金が236,898千円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて12.2%増加し、4,803,801千円となりました。これは、利益剰余金が327,116千円、少数株主持分が451,673千円増加したことなどによります。なお、「従業員持株会支援信託E S O P」の信託契約に伴う自己株式284,100千円は株主資本から控除しております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

1月の月例経済報告は「一部に下げ止まりの兆し」との表現が加えられ、8カ月ぶりの上方修正となるなど、昨年春から景気後退期に入ったとされる日本経済が、昨年末までに底入れしたとの見方も出てきております。一方、倒産抑制に寄与してきた中小企業金融円滑化法の終了が本年3月末と間近に迫っており、今後の企業倒産動向は見通し難い状況となっております。

こうした環境を見据えた上で、当社グループは、低リスク分野でのリスク引受け拡大を継続し、大企業顧客の更なる拡大に注力いたします。また、手形・債権買取サービスなど保証を活用した周辺ビジネスにより、金融機関と連携した取り組みを進め、売上拡大を目指します。

また、外部環境の変化に左右されずに低リスクゾーンから高リスクゾーンまで幅広いリスクを安定して引受けられることを可能とするリスク引受力の拡大を図ります。そのため、リスク流動化手法を多様化すると共に、ファンドへの流動化を更に拡大してまいります。

平成25年3月期の連結業績予想は、平成24年5月14日に発表いたしました売上高3,640百万円、営業利益980百万円、経常利益1,000百万円、当期純利益530百万円から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,617,493	4,742,923
売掛金	33,557	22,358
有価証券	498,324	499,626
前払費用	620,686	1,030,608
繰延税金資産	70,444	70,444
未収入金	11,476	87,543
その他	22,215	53,371
流動資産合計	5,874,198	6,506,875
固定資産		
有形固定資産	40,655	22,413
無形固定資産	123,391	93,447
投資その他の資産		
投資有価証券	517,835	847,615
その他	75,871	55,334
投資その他の資産合計	593,707	902,950
固定資産合計	757,753	1,018,810
資産合計	6,631,951	7,525,686
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,009	31,428
1年内返済予定の長期借入金	—	59,041
未払法人税等	151,563	135,654
保証履行引当金	85,044	171,803
賞与引当金	74,039	48,545
前受金	1,833,733	1,829,229
その他	91,449	133,369
流動負債合計	2,282,838	2,409,071
固定負債		
長期借入金	—	236,898
役員退職慰労引当金	63,392	74,076
その他	2,573	1,837
固定負債合計	65,966	312,812
負債合計	2,348,804	2,721,884
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,418,401	1,432,310
資本剰余金	828,401	842,310
利益剰余金	1,421,091	1,748,208
自己株式	△57	△284,158
株主資本合計	3,667,837	3,738,671
新株予約権	42,374	40,522
少数株主持分	572,934	1,024,607
純資産合計	4,283,146	4,803,801
負債純資産合計	6,631,951	7,525,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,553,954	2,703,403
売上原価	987,337	946,907
売上総利益	1,566,616	1,756,496
販売費及び一般管理費	927,435	943,384
営業利益	639,180	813,112
営業外収益		
受取利息	8,321	13,095
為替差益	—	441
営業外収益合計	8,321	13,536
営業外費用		
支払利息	131	123
持分法による投資損失	—	1,234
営業外費用合計	131	1,357
経常利益	647,370	825,290
特別損失		
本社移転損失	—	31,418
特別損失合計	—	31,418
税金等調整前四半期純利益	647,370	793,872
法人税等	261,956	298,886
少数株主損益調整前四半期純利益	385,413	494,985
少数株主利益	51,731	41,673
四半期純利益	333,682	453,312

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	385,413	494,985
四半期包括利益	385,413	494,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333,682	453,312
少数株主に係る四半期包括利益	51,731	41,673



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。